

平成22年7～9月期の鉱工業指数

— 生産・出荷とも6期ぶりに低下 —

1 概要

平成22年7～9月期の埼玉県鉱工業指数（X-12-ARIMAによる季節調整済、平成17年平均＝100）は、前期と比べ生産、出荷指数は低下し、在庫、在庫率指数は上昇した。

前年同期比においては、生産及び出荷指数はそれぞれ上昇した。

	埼玉県			全国		
	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)	指数	前期比 (%)	前年同期比 (%)
生産	93.0	▲0.6	18.2	94.0	▲1.8	13.5
出荷	89.7	▲1.2	18.3	95.8	▲1.2	14.3
在庫	69.3	0.4	▲5.4	97.6	0.4	3.4
在庫率	155.5	26.8	1.6	108.1	1.8	▲13.1

注) 前年同期比は原指数、在庫指数は期末値

2 鉱工業指数の推移(季節調整済指数)

	生産		出荷		在庫	
	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)	指数	前期比 (%)
20年Ⅲ期	101.8	▲ 2.5	101.8	▲ 1.7	91.5	▲ 2.1
Ⅳ期	94.8	▲ 6.9	91.0	▲ 10.6	102.2	11.7
21年Ⅰ期	75.6	▲ 20.3	70.6	▲ 22.4	88.4	▲ 13.5
Ⅱ期	76.8	1.6	73.2	3.7	78.5	▲ 11.2
Ⅲ期	79.0	2.9	76.0	3.8	73.0	▲ 7.0
Ⅳ期	82.7	4.7	81.0	6.6	60.3	▲ 17.4
22年Ⅰ期	88.7	7.3	84.9	4.8	68.8	14.1
Ⅱ期	93.6	5.5	90.8	6.9	69.0	0.3
Ⅲ期	93.0	18.2	89.7	18.3	69.3	▲5.4

3 上昇・低下に寄与した主な業種及び品目

(1) 生産 (10業種上昇 12業種低下)

上昇した主な業種	一般機械工業	7.3% (0.9%)	フラットパネル・ディスプレイ製造装置
	プラスチック製品工業	2.1% (0.1%)	プラスチック製容器
低下した主な業種	化学工業	▲4.1% (▲0.8%)	医薬品
	印刷業	▲3.7% (▲0.3%)	平版印刷
上昇した主な品目	フラットパネル・ディスプレイ製造装置(一)、乗用車(輸)、歯車(一)、半導体製造装置(一)、基地局通信装置(情)、携帯電話(情)		
低下した主な品目	医薬品(化)、液晶テレビ(情)、平版印刷(印)、普通トラック(輸)、食缶(金)、コンベヤ(一)、管楽器(他)		

(2) 出荷 (9業種上昇 13業種低下)

上昇した主な業種	一般機械工業	4.6% (0.4%)	フラットパネル・ディスプレイ製造装置
	輸送機械工業	1.1% (0.2%)	乗用車
低下した主な業種	化学工業	▲4.3% (▲0.6%)	医薬品
	電子部品・デバイス工業	▲7.4% (▲0.4%)	線形半導体集積回路
上昇した主な品目	乗用車(輸)、フラットパネル・ディスプレイ製造装置(一)、基地局通信装置(情)、プラスチック製容器(プ)、携帯電話(情)		
低下した主な品目	液晶テレビ(情)、医薬品(化)、普通トラック(輸)、けん引車(輸)、平版印刷(印)、はん用内燃機関(一)、線形半導体集積回路(電子)		

(3) 在庫 (13業種上昇 8業種低下)

上昇した主な業種	一般機械工業	17.7% (0.9%)	はん用内燃機関
	電子部品・デバイス工業	10.2% (0.8%)	整流素子
低下した主な業種	輸送機械工業	▲72.9% (▲5.4%)	乗用車
	精密機械工業	▲28.1% (▲0.2%)	分析機器
上昇した主な品目	はん用内燃機関(一)、整流素子(電子)、電気掃除機(電)、一般缶(金)、アルミニウム圧延製品(非)		
低下した主な品目	乗用車(輸)、電子キーボード類(他)、鉛蓄電池(電)、分析機器(精)、クッキングヒーター(電)、普通トラック(輸)		

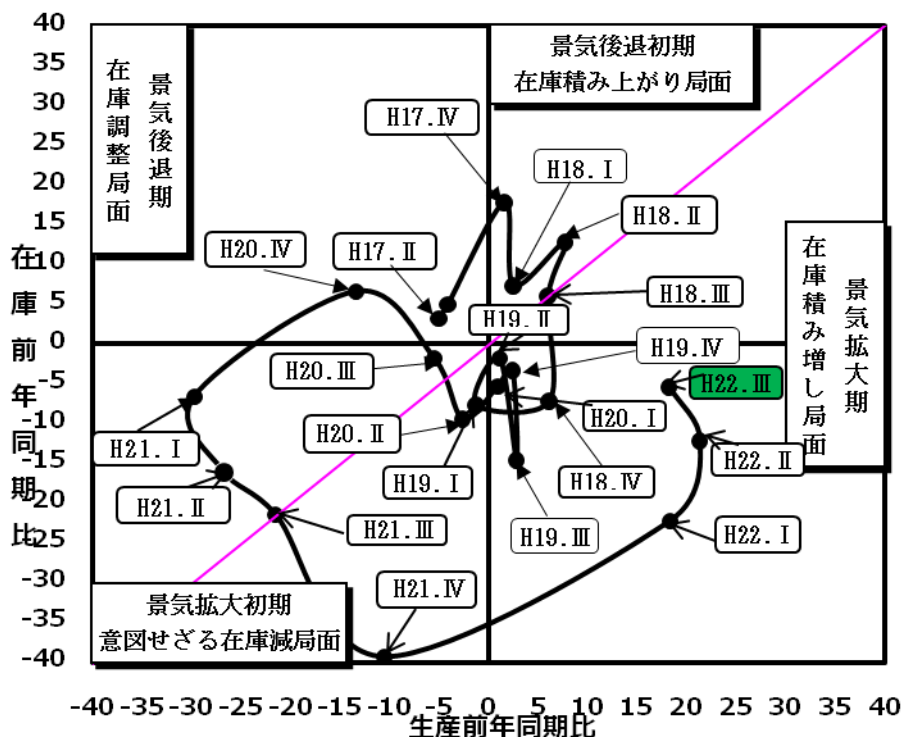
注1) 上昇・低下した業種には、産業総合、鉱工業総合、製造工業総合、その他工業総合公益事業を数えていない。

2) 数値は対前期、()内は寄与度。

3) 上昇及び低下した主な品目別の()内略称については、別添の業種分類別表を参照

4 埼玉県在庫循環

埼玉県在庫循環図



埼玉県在庫循環概要図

